



平成 25 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 ガイアホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 郡 山 龍  
(コード：3727、東証マザーズ)  
問合せ先 常務取締役 伊 藤 洋  
(TEL. 050-3786-1715)

## 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は平成25年3月14日開催の取締役会において、平成26年12月期（第30期）通期連結業績予想につきまして下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
平成 26 年 12 月期通期連結業績予想 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)	百万円 10,500	百万円 743	百万円 701	百万円 369	円 銭 29.40
(ご参考) 平成 25 年 12 月期通期連結業績予想※ (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)	8,182	△613	△651	△798	△63.58
(ご参考) 平成 24 年 12 月期通期連結業績実績 (平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)	7,499	△2,463	△2,466	△3,371	△268.60

※平成 25 年 2 月 14 日公表

#### 2. 通期連結業績予想の概要

当社は、中核事業として研究開発している優れたソフトウェア基盤技術がグループ全体の高い競争力の源泉であると考えております。当期（平成 25 年 12 月期）は、アプリックス IP ホールディングス株式会社への商号変更（予定）が示すとおり、今一度当社グループの原点に立ち戻り、起業時からの競争力の源泉であったソフトウェア基盤技術を再び事業の中核に据え、既存事業構造の見直しによる収益力の改善及び新規事業の収益力の強化に取り組んでおり、原点回帰による再成長戦略の初年度と位置付けております。

ソフトウェア基盤技術事業セグメント内の新規事業である M2M 関連事業分野においては、これまでに取り組んできた研究開発や大型展示会への出展等の先行投資が実を結び、様々な業界の機器メーカーやアプリベンダーとの取引が開始されております。当期よりこれら先行投資の回収が本格化し、来期（平成 26 年 12 月期）は通期連結売上高の約 3 割を占める売上構成にまで成長する見込みです。M2M 関連事業分野を当社グループの成長戦略の柱として、今後も市場創造と事業拡大を進めてまいります。

コンテンツ・サービス等事業セグメントにおいては、回収の目途が立たないゲーム・コンテンツ関連資産及びプロジェクトの選択や整理を前期中に完了しております。当期は、既存事業の安定化を図ると同時に、更なる収益基盤の確立に向けて、当社グループが持つコミック、ゲーム・コンテンツ、アニメーション等の自社 IP（Intellectual Property：知的財産）及びソフトウェア基盤技術とのシナジーを最大限に活用する

ご注意：本リリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。  
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。  
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

総合エンターテインメント事業展開の本格稼働を推し進めており、来期以降の収益性の確保を実現する所存です。

これらの理由により、来期の通期連結売上高につきましては、当期の通期連結業績予想を 2,000 百万円以上上回る 10,500 百万円、営業損益につきましては当期を境として来期より再び営業利益に転じ、743 百万円を見込んでおります。

- (注) 1. アプリックス I Pホールディングス株式会社への商号の変更は、平成 25 年 3 月 22 日開催予定の当社第 28 回定時株主総会において定款の一部変更が承認されることを条件とします。
2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上